

## 早期から行った新型コロナウイルスワクチン集団接種の取り組みと副反応報告

法人名 神奈川県厚生連  
 病院名 相模原協同病院  
 発表者氏名 神野祐子

### 【目的】

当院は、国内1例目の受け入れに始まり、新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）患者を積極的に受け入れている。また当院では、2021年3月より職員のワクチン接種を開始し、その副反応についてアンケート調査を行った。

ワクチン接種の目的は、個人の感染予防と、周囲への感染も予防することであり、高い接種率が求められる。職員の接種終了後、市内医療機関や救急隊員、薬局等の医療従事者に対し、職員が一丸となってワクチンの集団接種を行っている。当院で行った、ワクチン接種状況と副反応調査結果を報告する。

### 【活動内容】

2021年2月に職員へワクチンの情報提供を行い、接種希望を確認した。

3月に、ワクチンの接種を975名へ施行し、接種後1週間に副反応のアンケート用紙を回収、集計を行った。また、4月～6月の3カ月間、市内医療従事者に対し計28日の集団接種機会を設け呼びかけた。ワクチン対応要員として事務、医師、看護師、医療技術部の職員平均15名/日を動員した。接種予定者に当院のアンケート結果を公開し、副反応についての情報提供を行った。

### 【結果】

2021年5月末時点における、職員のワクチン接種率は95.9%であった。975名に行ったアンケートの結果、1回目ワクチンで副反応があったのは826名（85%）、発熱は20名（2.1%）、副反応報告件数（複数回答含む）は1376件であった（図1）。2回目ワクチンで副反応があったのは878名（94%）、発熱441名（45.7%）、副反応報告件数（複数回答含む）は3782件であった（図2）。

2021年3月～5月末、職員および医療従事者等の総接種回数は、5331回となった。

図 1

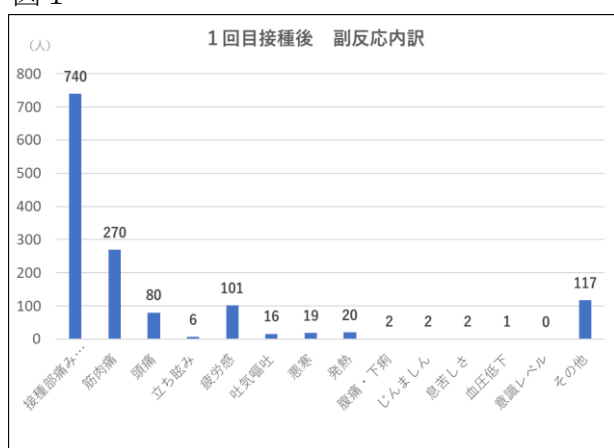
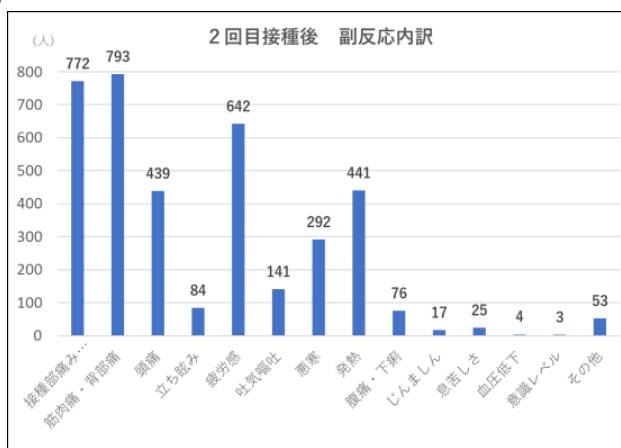


図 2



### 【結語】

当院は、5月より高齢者と医療従事者の接種を開始しているが、その他にも集団ワクチン接種会場を設けてきた。今後もできる限りワクチン接種を行うため、7月以降も集団接種機会を設ける方針である。COVID-19患者の減少を目指し、地域のワクチン接種向上に貢献していく。